



11月の「第5回傾聴作文」では、1～3年生は担任ではない先生の話（例えば1年1組で2年1組の担任が話す）、4～6年生は校長先生の話を書いて自分が感じたことを文章にまとめました。

第5回の校長先生のお話と子どもたちの感想をお知らせします。

☆☆☆ 「親しき仲にも礼儀あり」 ☆☆☆

今日の傾聴作文は、4, 5, 6年生に、親しき仲にも礼儀あり、というお話をします。何でも言い合える人間関係は素敵ですし、とても楽しいと思います。家族や先生、友達などでしょうが、そういう深い人間関係になっても、疎かにしてはいけませんが、礼儀です。礼儀とは、相手を立派だと思って大切にしようとする気持ちを表すための態度や行動のことです。

親しき仲にも礼儀あり、とは、はっきりとはしていませんが、中国の昔の思想家である孔子が作った「論語」が由来であるといわれています。意味は、親しみ過ぎて遠慮がなくなると、仲が悪くなるものになるから、親しい相手でも礼儀を重んじよう、ということです。ようするに、家族や友達など親しい間柄だからこそ、良い関係であり続けるために、相手に気遣いをしよう、という人付き合いで大切な言葉です。

この、親しき仲にも礼儀ありは本当のことで、これを守らないと、どんなに仲が良くても悪い関係になってしまいます。仲のいい友達に、何でもかんでもズバズバ言っているうちに、仲のいい友達のことを傷つけてしまうことだってあるのです。家族だから、友達だから、何を言っても許される、という考えは間違いで、友達を失ってしまうことになってしまいます。確かに親友には、腹を割って話す、つまり本音を隠さずさらけ出して正直に話すことができますが、だからといって、言いたいことを何でもかんでも言っている訳ではありません。さらに、先生や目上の方に対しても、です。気遣いなくうっかり失礼なことを言ってしまったら、言った人自身のことを、礼を欠くなんて嫌な性格の人だろうと思われてしまいます。そんなだと、学校から外に出て、社会に一員になった時に、恥ずかしい社会人になってしまいます。ですから、親しき仲にも礼儀ありを常に忘れないようにして、家族であっても、仲のいい友達であっても、先生とか目上の人であっても、良い関係を築けるような人になってください。

児童の感想から

- ・校長先生のお話で心に残ったことは、礼儀はとても大事だということです。これからは、礼儀正しく生活をしていこうと決心しました。例えば、友達の家遊びに行ったら忘れずに「おじゃまします。」や「おじゃましました。」と言うようにして、礼儀正しい大人になりたいと思いました。（4年生）
- ・今日のお話を聞いて、新しい言葉を習いました。それは「親しき仲にも礼儀あり」という言葉です。この言葉の意味は、どんなに仲がいい友達や先生でも、礼儀を忘れると不仲になるということです。私もみんなと仲がいいし一年生の頃からずっと友達の人もいますが、時々友達とけんかをしてしまうことがあります。そんな時は、お互いに何がなかったのかを考えて謝り、ずっとみんなと仲のいい友達でいたい。これからは友達との友情を大切にしていきたいです。（4年生）
- ・このお話は、礼儀は大切だというお話でした。仲のいい友達だからといって悪口を言ってしまうと友達がいなくなってしまうので、礼儀は大事だと思います。この話を聞いて一番感じたことは、礼儀は生活の一部だということです。なぜかという悪いことをしたり悪いことを口に出したりすると礼儀がなくなってしまう、礼儀のない生活になるからです。これから、礼儀を大切に人生を過ごしたいです。（4年生）
- ・いくら親しい人でも、何でも言っているわけではないと思いました。なぜなら、どんなに親しい人でも、言われたらいやなこともあるからです。私は仲のいい人に色々な話を話していましたが、この話を聞いて、私に言わないだけでいやなこともあったのではないかと思います。私も友達に言われている話もあったからです。だから、これからは人と話すときには、この話をしたら相手はどう思うかを考えて話をしていきたいです。そして、礼儀を守って色々な人と仲良くなりたいです。（4年生）
- ・今日のお話は、いくら親しい仲でも何を言っても構わない訳ではない、というお話でした。私はこの話を聞いて、兄弟に強い口調で話してしまうことがあります。これからは強く言ってしまうようなときは「親しき仲にも礼儀あり」という言葉を思い出して、相手がその言葉を言われたらどんな気持ちになるかを考えて話したいです。（5年生）
- ・私はこの話を聞いた時、簡単そうなことだと思ったけれど、親しい仲だからこそ難しいことだと気が付きました。知らないうちに、周りの仲のいい人達を傷つけてしまっているかもしれないと思いました。これからは、どんな仲でも言葉づかいや行動に気を付けていきたいと思いました。（5年生）
- ・このお話は親しい仲でも礼儀をしっかり守ると、良い関係を作ることができるというお話でした。お話を聞いて、確かに親しい仲でも礼儀を守ることによって良い関係になるので、礼儀はとても大切なことだと分かりました。私は今まで、それほど礼儀を意識することがなかったと思うので、これからは親しい人にも、あまり親しくない人にも礼儀を持って生活するように頑張りたいです。（6年生）
- ・このお話は、いくら仲のいい友達でも礼儀がない言葉を使ったり、したりしてしまうと相手を傷つけてしまうので、礼儀はどんな人にも大切だというお話でした。私は前に仲のいい友達だからと思い、礼儀のない行動をしてしまい、知らない間に相手を傷つけてしまっていたかもしれないと思いました。これからは、どんな人にも礼儀を持って優しく接し、相手も自分も嬉しい気持ちでいられるようにしたいです。（6年生）